令和６年度　第１回防府市部活動改革推進協議会　議事録概要

令和６年６月４日（火）１０：００～１２：００　於：南北会議室

１　開会行事

教育長あいさつ、　出席者紹介

２　山口県所管説明

（１）山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針について（県スポーツ振興課）

・国のガイドラインを踏まえ、県観光スポーツ文化部と県教育委員会の合同で部活動の段階的な地域移行に係る県の方針を策定

・令和５年度以降のスケジュールについて説明

（令和８年度以降の国の方針が示されていないので情報が入り次第市町に伝える。）

・学校と地域の連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示し、行政の支援対象となる地域クラブについては市町が要件を設定し、登録・指定を行うなど適切に運営することが望ましい。

（２）指導者の質の保障・量の確保について

・山口県部活動の地域連携・地域移行に係る指導者研修会の開催

・人材バンク及びポータルサイトの設置

（やまぐち部活動改革応援バンク　～スポーツ・文化務芸術つなぐ NAVI～ ）

３　防府市地域クラブの移行スケジュールについて（事務局）

（１）令和５年度の取組と令和６年度以降の取組について

・令和５年度は柔道・剣道を実証実験事業として地域クラブ化したことの成果と課題

・令和６年度はモデル事業として軟式野球が８月から、吹奏楽が１１月から地域クラブ化

・地域クラブ化する上での課題（指導者確保、活動場所の調整、費用負担、意識改革）

（2）防府市地域クラブ活動推進方針（案）について

・本市の市立中学校等の部活動を取り巻く状況を踏まえ、今後のめざす姿と基本方針を明確にし、令和８年度から地域クラブ活動を完全実施する。

4　意見交換等　（委員）

・中学校体育連盟や学校部活動の活動期限について国からは、まだ示されていない。

・中学校体育連盟や中学校文化連盟について、学校部活動がなくなった場合の組織の在り方について考えていく必要がある。

・地域クラブの中学校体育連盟への登録について、参加枠や指導者資格などが課題となる。

・指導者公認スポーツ資格の取得に係る経費は個人で取得するには高額である。

・地域クラブに対する市からの金銭的支援については検討課題とする。

・部活動で使われていた備品の扱いについて、学校開放事業と同様に使用することは可能、個人使用の物は各自で準備するようになる。

・フレンドシップ、スキルアップ、チャレンジの３種類を全て立ち上げるのは、指導者の意向もあり難しい状況となっている。

・学校部活動の地域クラブ化について、クラブ管理事務局だけではなく、教育委員会全体や文化スポーツ観光交流部と一体となって進めていける体制を整備している。

・文化部の移行スケジュールについても、スポーツと同様に取り組んでいる。

・文化部が学校で行っていた取組はボランティアという形に切り替えると継続しやすいのではないか。

・華道の指導者はたくさんいるので、しっかりと宣伝してもらえば、生徒も集まると思う。文化を大切に受け継いでいってほしい。

・指導者の年齢層が高いので、持続可能なクラブにするためにも防府の子どもたちと繋がりのある方々で若い指導者を探していく必要ある。

・吹奏楽部は受益者負担だけでは運営していくのは難しいため、活躍する生徒を支援する仕組みを学校などでも作って欲しい。

・自転車での移動について安全・安心の確保と、駐輪場の整備が必要。また、遠方の生徒の移動を考慮してあげて欲しい。